

# できること何だろうか？

## 心のバリアフリー 中高生、意見出し合う

南陽

心のバリアフリーについて知ろう入門編が4日、南陽市の沖郷公民館で開かれ、置賜地区の中高生が障害者について学び、自分たちができることについて考えた。

南陽市社会福祉協議会が毎年行っている「夏の体験ボランティア」の一環。同市がことし4月「市障がいのある人もない人も共に生

きるまちづくり条例」を施行したことを踏まえ、お互いに助け合う思いやりの心を育もうと開催した。

南陽市の中高生を中心に19人が参加。4、5人ずつ4グループに分かれ、障害の分野別に困り事を考えた後、市内の作業所の様子をビデオ会議システム「Zoom」を使って学んだ。生徒たちはその後、どん

心のバリアフリーについて理解を深める生徒たち  
＝南陽市沖郷公民館

な支援ができるかについても協議。「つらそうに見えるたら優しく相談に乗る」「障



害に関する理解が進んでいないので知識普及の講座を開く」などと意見を出し合っていた。

(黒沢光高)